



一月二六日東京八重洲富士屋ホテルで第七回関東琴丘会が開催された。町関係者十七名が地鶏、ダマコモチ、馬刺しなどを持参して上京。会員は懐かしいふるさとの味に舌鼓を打ち、できたての町民音頭と琴丘町史の披露に耳を傾けながら、ふるさと発展のために大いに意見を交換し合った。

関東琴丘会 会長・腰山巳代治氏

事務局・琴丘町役場

0185-87-2111

完成近い八竜運動公園

八竜町（田鶴川村、浜口村を合体）

町は、昭和60年度から建設省のカントリーパーク事業を導入し、町民が快適に過ごせる住環境整備やふれあい・憩いの場所造りを目指してさまざまな取り組みをしてきた。メイン施設の町民体育館、駐車場、自転車置き場、あずま屋、準天候型のゲート

ボール兼テニスコート、丸太材を活用した舟形の遊具、水洗トイレの設置などと、すでに公園としての様相を整えつつある。

今年度も、展覧会、休憩施設、築山などを建設中である。中でも、鉄筋コンクリート造りの展覧会口は、高さが5メートルもの擬岩風に仕上げられ、内部の螺旋状階段を登れば、公園内が全部見渡せるものとなる。

来年以降の施設整備と合わせ、ここが八竜運動公園として町民に活用され、公園以上の機能を發揮して、町作りの核となることが今から期待されている。昨年十二月一日首都圏在住の八竜町出身者で組織

する「東京八竜会」の総会が東京の浅草で開催された。総会には、百七十名の会員が参加し、町長始め町から上京した三十三名と懇談を深めた。会場のあちこちに一年ぶりの再会を喜び、ふるさと談義に花を咲かせる姿が見られた。

東京八竜会 会長・川村幸信氏

事務局・八竜町役場

0185-85-2111

青森県西津軽郡岩崎村

村の開発振興に本場のサンタも一役

村は、昭和63年5月、日本サンタランドいわさき計画がスタート以来、同年サンタクロース・スピリット委員会設立、平成元年サンタランド協定締結、サンタポスト開業、サンタクロース郵便局開局、平成2年リフレッシュ村開業（ログハウス）、フィンランド・ラヌア郡との姉妹都

市締結、サンタクロースセミナー開催など、日本サンタランド実現に向かっている準備が着実に進められてきた。またその間、フィンランドからサンタクロースを村に招き、ヨールブッキ（サンタ）祭を開催するなど、村内に限らず広く日本に「愛」と思いやり、そして希望のサンタクローススピリットを普及し、夢とロマンを与えようとするとともに、フィンランドとのいっそうの友好を深める努力が続いてきた。その結果この4月、第3セクター「サンタランドいわさき株式会社」を誕生発足させることができた。

平成5年の開業に向かって、いよいよ第一期工事としてサンタの家、宿泊施設サンタロッジ、トナカイ牧場、トロールの森レストランなどの建設着工の運びとなる。

ふるさと十二湖人会 会長・堀内隆城氏

事務局・石戸秀晴氏

0471-43-0008



松陵スポット&トピックス

先生とあだ名

みちのくの遅い花の季節もようやく間近に迫ろうかというある日の昼下がり、校舎の一番端にある理科準備室では、いつものように教師たちが下校間際の雑談に花咲かせていた。

そこへ新入生とおぼしき生徒が入ってきて、「あの一、カシヨウ先生いねスカ」「なぬ一、カシヨウ先生だー」と、W先生。今にも鼻からずり落ちんばかりの眼鏡越しに、生徒をジロリとひとにらみ。

生徒、わけもわからず恐縮して、「あの一、先輩がカシヨウ先生いねが聞イでこいてしゃべたス」

「それだば、オメー、先輩にからかわれたんだ。本校にそした先生はいねよ。ちゃんとW先生と言わねばダメだ」と、ヤマイモことK先生が懸命に笑いを噛み殺しながら諭す。

「いやー、新入生が先生捕まえて、いきなりあだ名で呼ぶというのは、開闢以来の不祥事でねスカ、先生」と、ブランクトンことA先生が、独特のナットウのような粘っこい口調でまぜっかえす。

昔、どこの高校でもこのような光景がいつ出現してもおかしくないほど、教師にあだ名はつきものだった。今、生徒から愛称としてのニックネームを奉られる先生がきわめて少ないと聞く。その善し悪しはさておいて、あだ名とともに古きよき日の恩師の雄姿を一時懐かしむのも一興かと思う。

能中時代の懐かしい先生

西田平一校長（ヘッチャ）
新家利一校長（ウルメコ）
高橋一郎校長（ウマッコ）
黒瀬達也教頭（クマソ）
鈴木勇先生（漢文・ヒラメ）
小竹寛治先生（英語・ウルフ）
佐久高士先生（歴史修身・テロ）
相庭久三郎先生（国語・ピストル）
南初喜先生（歴史修身・ケシズミ）
石丸金重先生（数学・ザサン）
田山雄二郎先生（数学・センプリ）
川野卯一先生（数学・ナンバ）
小葉田亮先生（地理・コバゲ）
上原俊一先生（国語・ヤギ）
立石栄吾先生（化学・タテガモ）
森蕃先生（数学・アカブタ）
徳原俊三先生（英語・ビール）
太田口政治先生（体育・ウマッコ）
野村政治先生（図工・アカヒゲ）
衛藤正敏先生（物理・ジャイアント）
田村照一郎先生（英語・ライオン）
近江静雄先生（植物・ホシミドロ）
村松四郎先生（化学・ムジナ）
吉田勇三先生（農業・カクセイキ）
須田定基先生（柔道・ガメ）
大山会三郎（音楽・シャクシ）
高橋岩五郎先生（柔道・ガン）
武衛岩雄先生（剣道・ジッチャ）

以上、この資料は塚本先輩からお借りしました。

バレー部東京OB会発足

同窓生であり、恩師であり、能代高校バレー部の育成に多大な貢献をなされた大原義正氏の1周年にあたる平成3年4月13日、「大原義正氏をしのぶ会」が渋谷で開かれました。能代から能代高校バレー部OB会会長武田重一先生も上京され、教子である菅原貞敬氏からはせつせつたる追悼が献じられるなど、しめやかな中にも、多数の同窓生が列席され、万事明るいことがお好きだった大原先生のご遺徳を偲ぶにふさわしい、陽気でなごやかな雰囲気になりあふれた会に終始いたしました。

これに先立ちまして「能代高校バレー部東京OB会」の設立総会が催され、同会の結成が決まり、近藤誠氏より大原先生のご遺影に東京OB会発足の報告がなれました。

なお、同OB会運営のための年会費は、3,000円とさせて頂きましたので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

能代高校バレー部東京OB会設立発起人
塚本淳逸 近藤 誠
菅原貞敬 石川輔宏

会長 近藤 誠

〒242-03 神奈川県海老名市柏ヶ谷967
モア ステージ海老名320

TEL 0462-33-0026

連絡先 八柳昭義

〒164 中野区中央5-7-1(株友和内)
TEL 03-3383-2111

春の叙勲・教育功労賞

鎌田 宏先生 平成2年、勲四等・旭小綬賞受賞。

鎌田先生は、旧制能代中学・能代南高校で国語を教えられ、県教委指導主事、由利・本荘高校教頭を歴任。44年鷹巣高校校長、県教育庁主席参事のあと、49年能代高校校長になった。57年能代市教育長となり、59年9月の退職まで三期、9年間同職を務められ、高校教育振興ならびに地方教育行政に多大な貢献をなされた。

高橋直三先生 平成3年、勲四等・瑞宝章受賞。高橋先生は、一昨年、東京の総会席上で先生のお話にもあった通り、昭和21年4月旧制能代中学に物理・化学の教師として赴任以来、35年3月まで能代高校で教鞭を取られたが、同年4月能代商業高校教頭、45年同校校長に昇任。52年角館高校校長で定年を迎えるまで、広く県内各地で高校教育振興に貢献された。